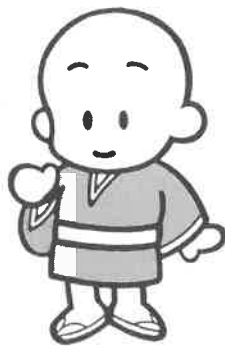


円心くんの



ま ち の 題  
話

# 習おついでという時の対処を

## 梨ヶ原小で心肺蘇生法講習会

七月十一日(木)、梨ヶ原小学校で赤穂市消防署上郡分署職員を招き、教師、PTAを対象とした心肺蘇生法講習会が開かれました。

これは、消防署、学校、PTAが協力し合い、いざという事故に対処する心肺蘇生法を習得するために、計画的に各小学校で開かれているものです。

体育館には練習用の人形が用意され、消防職員から説明を受けた後、さっそく人形を使って実際にやってみました。みなさん、初めは緊張し不慣れでしたが、徐々に覚えていくと、児童を想定した活発な質問が飛び交い、消防職員も現場の体験をまじえて説明するなど有意義な講習会となりました。



人形を使って実施訓練

人が倒れ呼吸停止になった場合、人工呼吸や心肺蘇生法を行うと、一分以内なら九十七%、二分以内で九十%、三分以内で七十五%、四分以内で二人に一人と、早くすればするほど蘇生する割合が高くなり、遅ければ遅いほど死亡する割合が高くなるといわれています。

# ありがとうベンジヤミン先生

## 外国語指導助手送別会

七月十五日(月)、上郡中学校で外国語指導助手として三年間勤められ、このたび契約任期が終わり、アメリカへ帰国される、ベンジヤミン・ブラウン先生の送別会が行われました。

ベンジヤミンさんは、温和で明るい人柄ですぐに町の人気者になり、優れた英語指導により中学生の語学力の向上に貢献さ

れました。また、保育所や幼稚園、小学校での英語教室にも積極的に参加されたり、在日中に柔道二段を取得。また、先のNHKのど自慢予選会にも出場されるなど町の国際交流においてに貢献されました。

「初めての来日でしたが、生徒や町の方々がやさしく接してく

# 収益金を義援金として寄付

## 上郡高校文化祭でアルミ缶壁画を展示

六月二十(木)・二十一(金)の両日、県立上郡高等学校で文化祭が開催され、アルミ缶・使用済みテレホンカードの売却や模擬店の売上など、文化祭を通じて得た収益金十二万九千二百一十四円が、このたび阪神淡路大震災義援金として寄付されました。

同校では平成三年から収集ボランティア活動をしており、これまでロータスクーパーを活用し、電動車いす二台を町社会福祉協議会へ寄贈するなどしています。

今回の文化祭でも、生徒会役員が中心となってアルミ缶約一万三千個を収集し、活動のシンボルに」と缶を利用した巨大壁画づくりに挑戦。缶の収集、洗浄、穴あけ、色つけなど約二ヶ月間かけて、ついに壁画「赤富士」を完成させました。使用した缶は約八千個、八m×八mの大きさで二百kgもある超大作です。この壁画は校舎に展示され、文化祭終了後、リサイクル業者に売却されました。

同校生徒会(玉村啓介会長・三年)では、「一人一人の力をつなぎ合わせれば、大きな力にかわるといふことを信じています。」と文化祭に取り組み、劇に、模擬店に、バザーにと、それぞれ各クラスごとに工夫した楽しい内容となりました。



「赤富士」の壁画と生徒会のみなさん